

MONUMENTA NIPPONICA

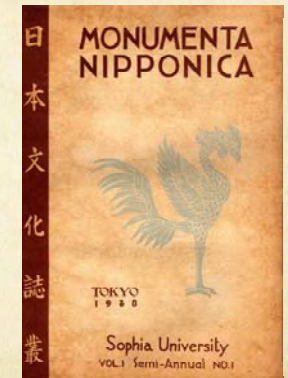
PROJECT MUSE

参加への経緯 および現状

Monumenta Nipponica

Monumenta Nipponica の設立

- 上智大学の発行する日本文化に関する国際学術誌
- 1938年設立
 - 太平洋戦争中中断、1952年から再開
 - 2009年には第64巻
- 歴史・文学・宗教史・美術史などに関する論文、原典や資料の翻訳
- 使用言語
 - 設立時: 英語、ドイツ語、西洋諸言語
 - 第19巻(1964)以降、英語に統一



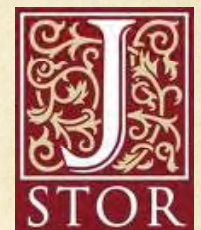
現在の Monumenta Nipponica

- 2009年は第64巻
- 発行体制
 - 年2回
 - 各号約200～220頁
 - 論文4～5本、書評約20～25本
 - 論文・書評ともに海外の研究者が主
 - 投稿論文の掲載率は約25%
- 購読
 - 冊子購読者の75%が海外の大学図書館、研究機関、個人など
 - 国際交流基金の援助プログラム(100冊)
 - 60カ国に送付



最初のオンライン化: JSTOR

- JSTOR
 - 1995年設立、アメリカの非営利団体
 - 学術誌バックナンバーのオンライン・データベース
 - 現在、世界中で5,800機関が購読
 - 冊子購読者数が減らないために、最近3または5年分を除く方針
- 1998年、JSTORから Monumenta Nipponica へ呼びかけ
- 1999年、上智大学が提携→Arts and Sciences I に入る
 - Arts and Sciences I を購読している機関は、創刊号以降、最近5年分を除いてMN全号がオンライン閲覧可能



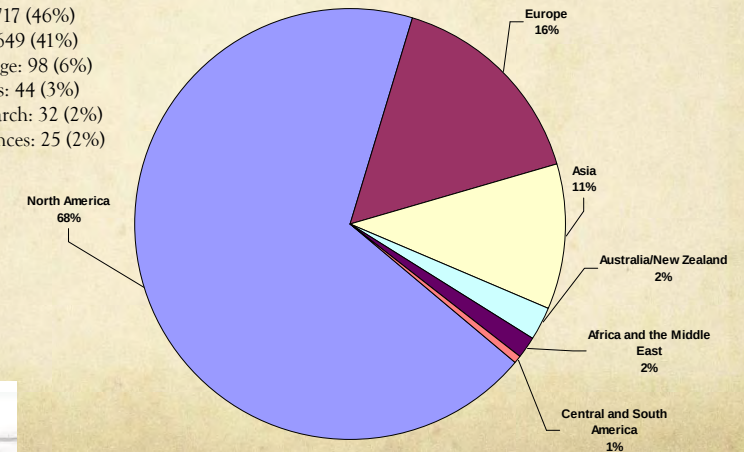
本格的なオンライン化: Project MUSE

- 2003年、MNはSPARCのパートナー誌に採択
- SPARCのサポートを受け、2005年よりProject MUSEに参加
- Project MUSE
 - ジョンズ・ホプキンス大学の電子ジャーナル・データベース
 - 2000年より学外の出版物を提供開始
 - 現在、472誌(106出版企業)を提供
 - 世界中で1,565機関が購読
 - 最新号から提供
 - JSTORとの緊密な連携



MUSEコレクション別購読者と 地域別購読者の比率

Collection Choices
 Standard: 717 (46%)
 Premium: 649 (41%)
 Basic College: 98 (6%)
 Humanities: 44 (3%)
 Basic Research: 32 (2%)
 Social Sciences: 25 (2%)



MNの完全オンライン化

- Monumenta Nipponica は Project MUSE の4つのメイン購読コレクション (Premium, Standard, Basic Research, Basic College) すべてに含まれる
→Project MUSE購読機関ほぼ全部からアクセスが可能
- Project MUSEへの参加が6年目となる来年からは、JSTORとあわせて全号がオンラインで閲覧可能になる

オンライン化の効果

- 読者数の把握
 - 冊子体: 読者数は不明
 - オンライン版: Project MUSEより提供される豊富なアクセス情報により、ある程度把握可能

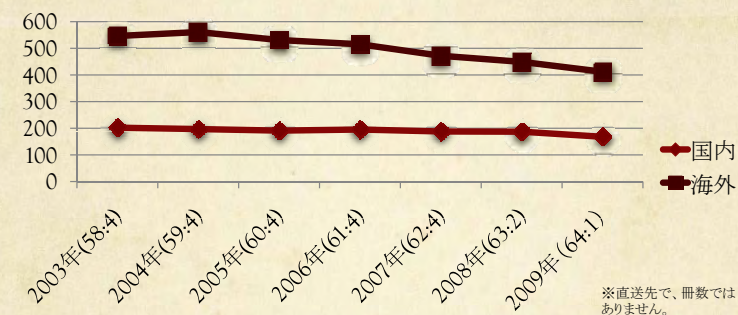


アクセス数と閲覧数の推移



- 論文閲覧数・アクセス元IPアドレス数は年々増加
- 今まで冊子体に容易にアクセスできなかった、新しい読者がかなり多いと推測される

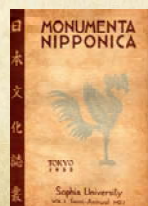
冊子MN直送先件数の推移



- 2003年度 (SPARC参画提案時点): 国内202件、海外546件
- 2008年度: 国内187件、海外449件
- 2009年度: 国内168件、海外412件
- 海外研究機関のうち、55機関が購読中止 (すべてProject MUSEの購読者)

オンライン化による推移

- 各論文読者の絶対数は増加、雑誌そのものの購読者は減少
- 冊子体から電子媒体への移動はこれからも続く予想される



経費回収への影響

- 雑誌購読料では不採算、上智大学の予算で運営
- Project MUSEからの配分
 - 非営利事業として、収入の約70%を使用权料(ロイヤリティ)として参加出版社に配分
 - 配分額は、MUSEにおける使用率、図書館購読者数、インデックスなどによる引用数値などを元に計算

MUSEロイヤリティスコア評価基準

評価: Presence in indexes (最高 8 points)

- Wilson Index ... 1 Point
- ISI citation indexes ... 1 Point
- JSTOR and/or PCI ... 1 Point
- IBZ ... 1 Point
- OCLC holdings: 100-399 ... 1 Point
- OCLC holdings: 400+ ... 1 Point
- Magazines for Libraries ... 1 Point
- Magazines for Libraries/Basic ... 1 Point

Monumenta Nipponicaのスコア

- ← 1 Point
- ← 1 Point
- ← 1 Point
- ← 1 Point
- ← 1 Point (Holdings: 424)

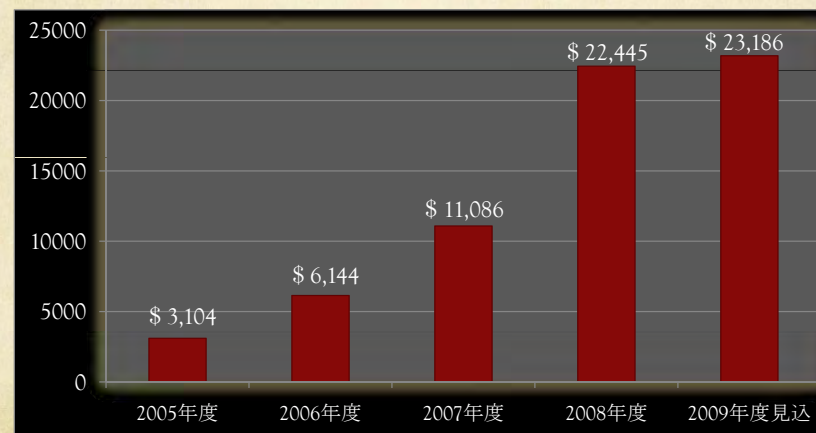
評価: Exclusivity Score (最高 2 points)

- MUSEのみに収録 ... 2 Points
- MUSE以外のデータベースで過去一年間発行分の閲覧を制限している ... 2 Points
- その他データベースでの公開は一カ所のみ ... 1 Point
- 2箇所以上のデータベースで公開している ... 0 Points

← 2 Points

合計 7 Points

Project MUSE ロイヤリティ入金額の推移



購読料収入の現状

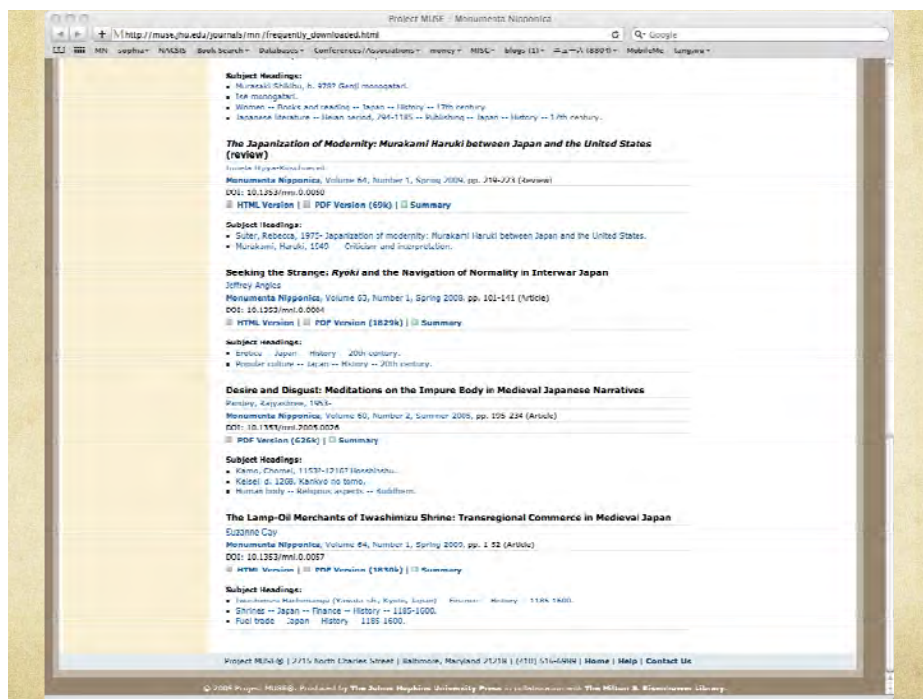
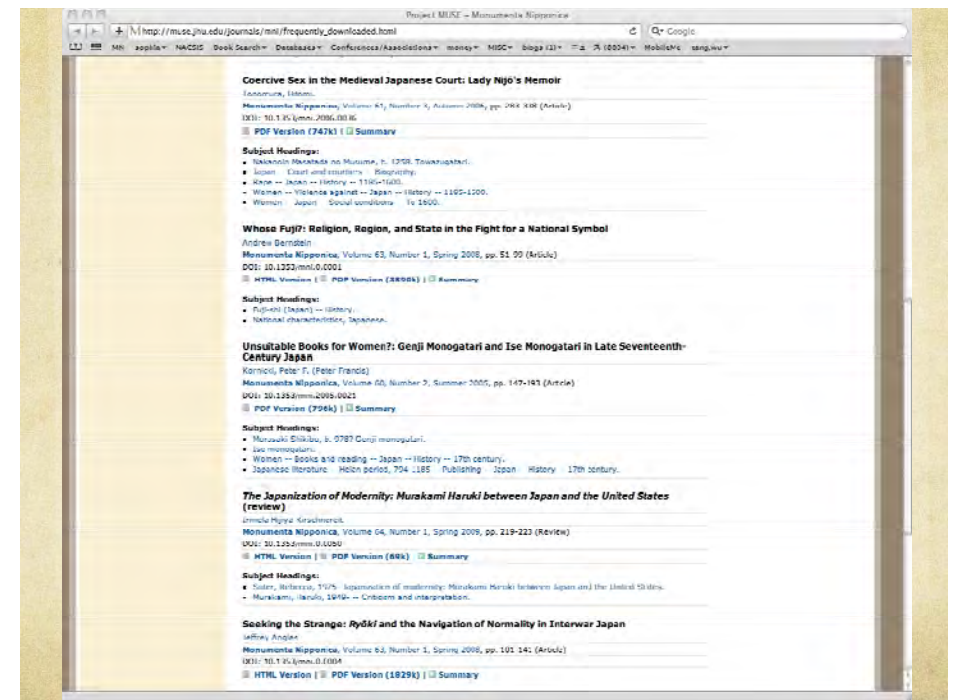
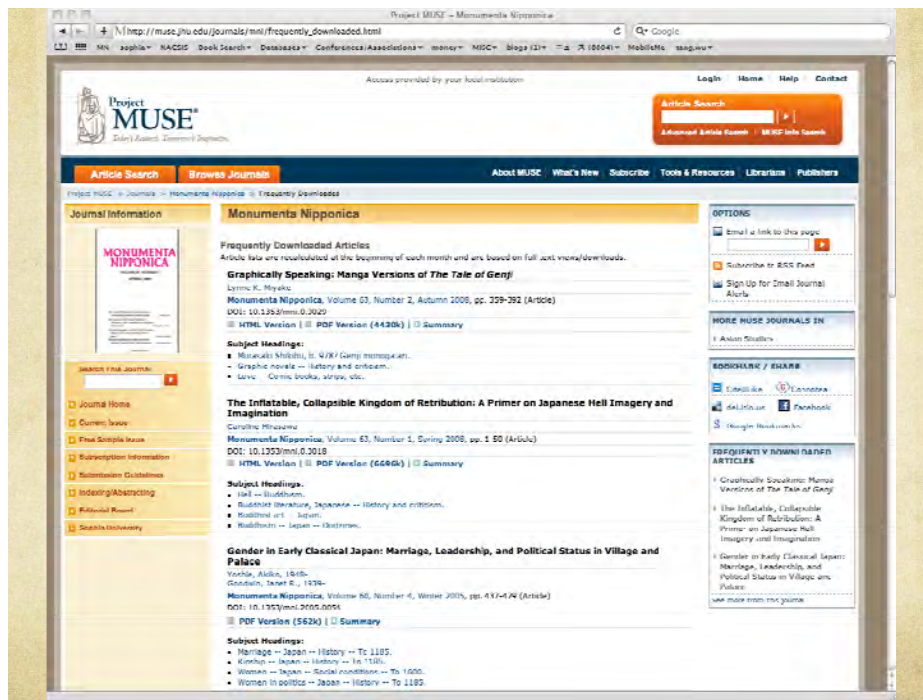
○ 冊子購読料

- 比較的低額
- 機関からの購読料による収入は決して大きくない
 - 機関と個人レートを区別していない
 - 機関の大多数は代理店経由
 - 代理店に対しては割引

- 今のところ Project MUSE からの収入は冊子購読者数の減少からくる損失額よりも遙かに大きい

編集・体裁・内容への影響

- オンライン化の影響は今のところそれほど大きくない
 - 投稿数は増えていないがオンライン化とは無関係?
 - オンラインで閲覧できない発表媒体は避けられる運命にあるという見方は強い
- 各論文が独立したものとして閲覧される可能性
 - 著作権や出版情報を論文ごとに載せるといった配慮
- 「人気」分野への偏りの懸念
 - ダウンロード数順リスト



オンライン化により見えてくる 購読行動と懸念

- オンライン化により、いわゆる関心事を扱った論文の「一本釣り」が可能になった



- 「人気」分野への偏りの懸念
 - ダウンロード数順リストでは、マンガ、女性史、身体に関する論文が圧倒的な人気
 - 論文を探しているうちにほかの論文に出会うという、冊子体での経験が失われてゆくとしたら、残念

英語ジャーナルDBの 日本における課題

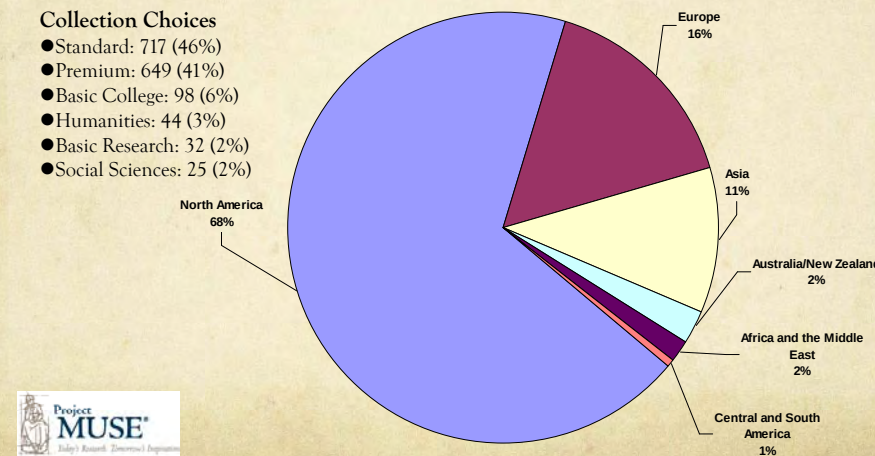
- 「日本で発行している英語学術ジャーナルをどうやってもっと海外に発信できるか」＝一方的すぎる
- 「発信」＝ two-way street
- 発信する体制と平行して、受け入れ体制にも目をむける必要



MUSEコレクション別購読者と 地域別購読者の比率

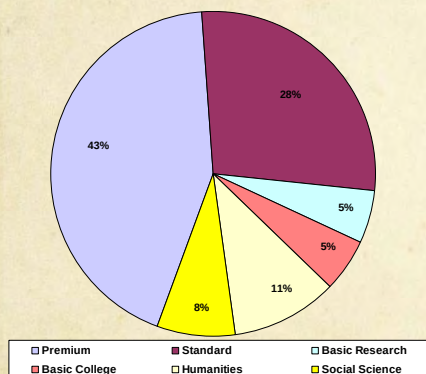
Collection Choices

- Standard: 717 (46%)
- Premium: 649 (41%)
- Basic College: 98 (6%)
- Humanities: 44 (3%)
- Basic Research: 32 (2%)
- Social Sciences: 25 (2%)

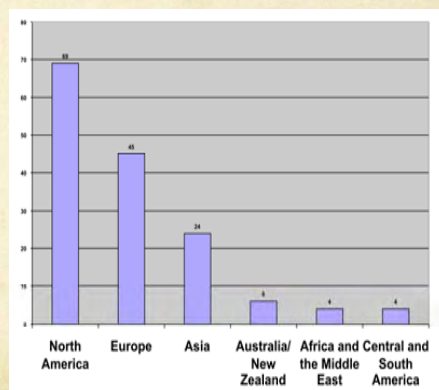


MUSE新規購読者

コレクション別購読比



地域別購読比



日本におけるMUSE購読機関

- 岐阜大学 ~ [Basic Research Collection]
- 北海道大学 ~ [Standard Collection]
- 京都大学 ~ [Standard Collection]
- 防衛大学校 ~ [Social Sciences Collection]
- 国立民族博物館 ~ [Standard Collection]
- 大阪大学 ~ [Standard Collection]
- 上智大学 ~ [Trial Access to: Basic College Collection]
- 聖心女子大学 ~ [Premium Collection]
- 早稲田大学 ~ [Standard Collection]

	2008年度	2009年度
韓国	13機関	16機関
台湾	9機関	9機関
中国	13機関	35機関
香港	4機関	4機関

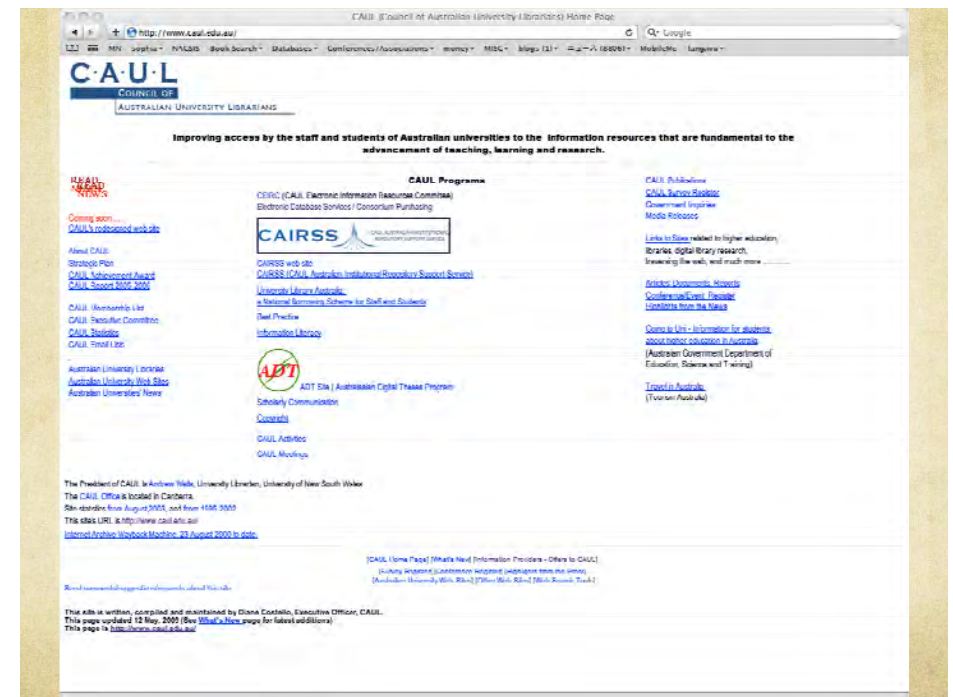
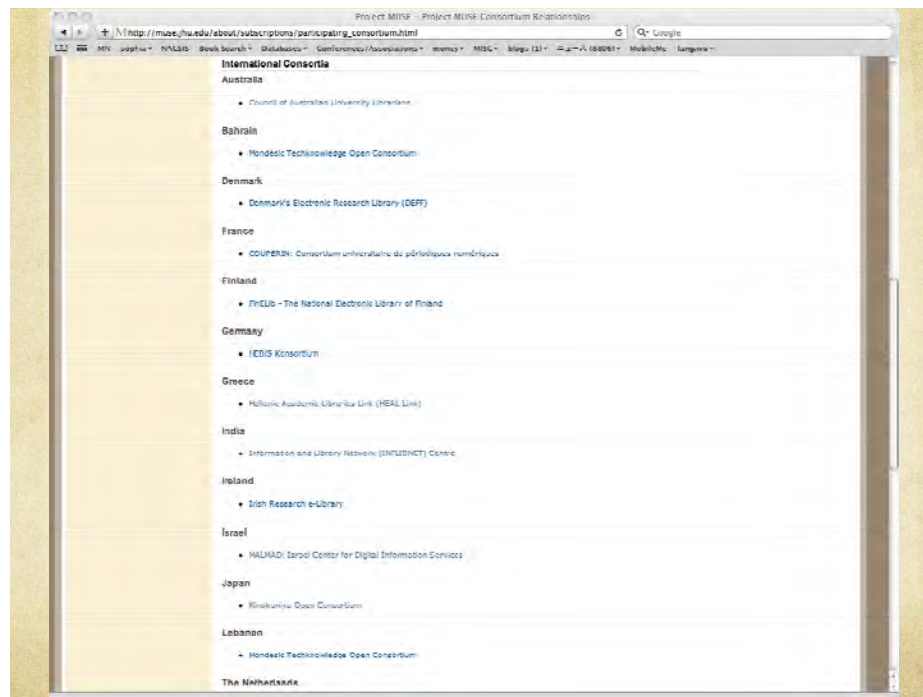
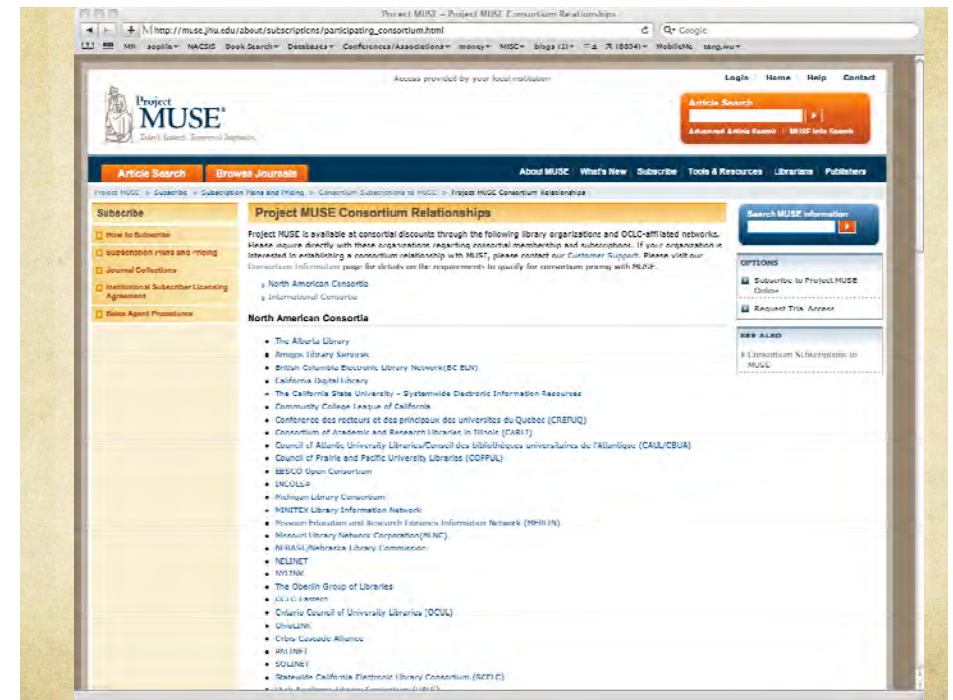


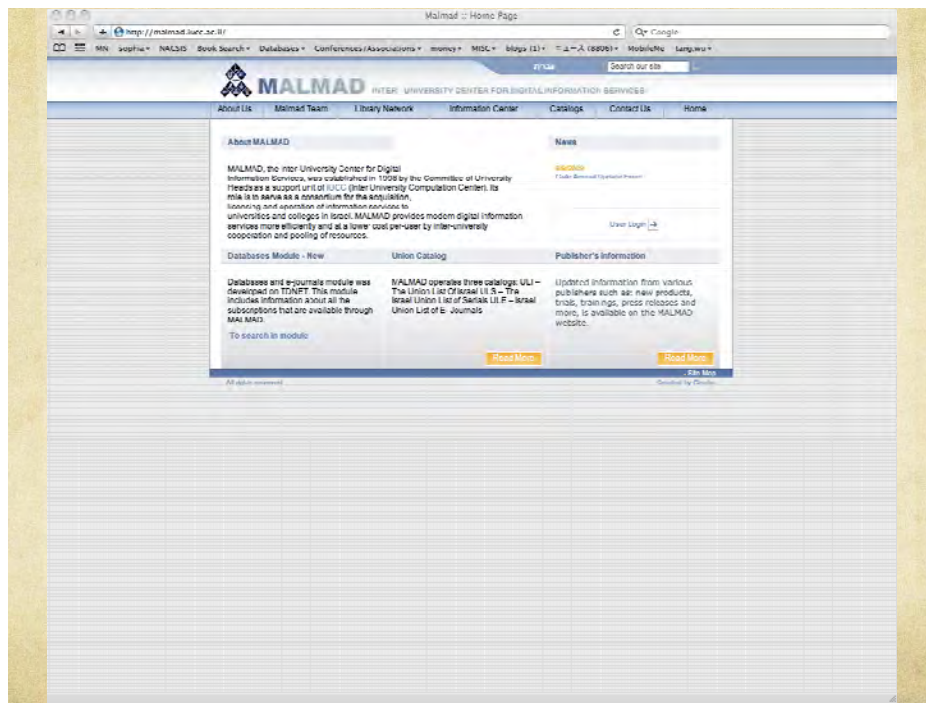
(2009.12.7現在)

データベース使用料の問題

- Project MUSEの購読料は決して安い
- 頻繁に使う人口はそれほど大きくない
- 紀伊國屋書店の10%の割引
.....それでよいのか？

2009年の購読料見積もり (上智大学の場合)	
Premium	\$34,400
Standard	\$24,200
Basic Research	\$20,400
Basic College	\$11,700
Humanities	\$12,900
Social Sciences	\$9,000





大学・研究機関の
より強い共同体制を！